

琉球大学病院の臨床研究に興味がある方へ

弾性ストッキング装着により夜間頻尿が改善するかどうかを調べる研究

1. 臨床研究について

琉球大学病院では、下肢浮腫を有する夜間頻尿の患者さんを対象として、日中の弾性ストッキングの装着が夜間頻尿を改善させるかどうかの「臨床研究」を行っています。

この研究に参加する場合、通常の治療費以外に新たな負担を求めることはありません。また謝礼をお渡しすることはありません。一方、本研究に参加することで、4週間の弾性ストッキング装着（装着してもらわない方もいます）と、いくつかの質問票に答えていただく負担が生じます（難しい質問ではありません）。弾性ストッキングは研究担当者より無料で支給いたします。

2. 夜間頻尿について

夜間頻尿は、夜間排尿のために一回以上起きなければならない病態と定義されます。日中の眠気や睡眠障害ばかりではなく、夜間転倒・骨折の原因となり、健康寿命にも影響します。

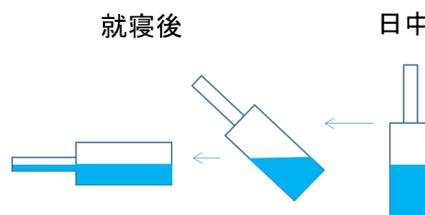
夜間頻尿の一般的な治療の中心は薬物療法であり、薬物治療の多くは膀胱や前立腺に作用します。しかし、夜間頻尿の原因の8割は夜間多尿（夜間の尿量が多くなる状態）と言われ、飲水過多や内科疾患が原因と言われます。このような夜間頻尿には一般的に薬物治療の効果は弱いと言われています。



3. 弾性ストッキングを着用してもらう理由（研究の目的や意義）

最近、夜間多尿の原因として、日中の下肢浮腫が注目されています。夜間就寝することにより心臓に下半身の体液が移動し、多尿を引き起こすと報告されています。そのため、日中の下肢浮腫が改善できれば夜間多尿の改善につながることを期待できます。本研究では、下肢浮腫ともなう夜間頻尿患者に薬物治療ではなく、日中弾性ストッキングを装着する方と装着しない方で、夜間頻尿の改善の程度を比較検討する予定です。

日中の下半身のむくみが就寝後心臓に戻ることで夜間多尿の原因と言われています



4. 研究の実施体制について

研究事務局：

琉球大学病院 腎泌尿器外科学分野

連絡先担当者：助教・芦刈明日香

電話：098-895-1186

上記内容にご興味がある、または研究参加のご希望があれば主治医にお申し出ください。